



精神病態セミナー

炎症のうつ病への関与と 個別化医療の可能性

演者：岩田 正明 先生

鳥取大学医学部 脳神経医科学講座
精神行動医学分野
教授

日 時

2024年 2月 2日（金） 18:00～19:00（質疑応答含む）

開催方法

Zoomを用いたLIVE型のweb形式

参加費

無料

参加方法

2月1日（木）までに下記URLよりお申し込みください。
精神疾患病態研究部のHPからもお申し込みいただけます。

<https://forms.gle/HC3aV5shpnFVg7Um6>

※事前申込が必要です。

慢性的にストレスを受けた個体の脳では、神経の萎縮やスパインの減少、シナプスの脱落など神経可塑的な変化が生じることが、動物研究で報告されている。ストレスは生体において危険シグナルとして感知され、炎症反応を引き起こすことがわかってきた。この炎症が神経を傷害している可能性が指摘され、現在はストレス誘発性の炎症を抑制する薬が抗うつ薬として開発されつつある。うつ病は、その病態が多岐に渡る異種性の高い疾患であると考えられており、今後は炎症性うつ病の同定とそれに呼応した個別化治療が実現されることが期待され、本セミナーではその現状と展望について概説する。

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部

橋本亮太 Tel: 042-346-2046（内線6255）